

一 【出典】高橋こうじ「日本の言葉の由来を愛おしむ」  
問一 無料(無償)

問二 絶対的な規範に従うのが当然だという発想。(20字)

問三 現代の多様な価値観の中では、規範によって正しさが変わり得るから。

問四 1 マーケット 2 シルエット

3 エチケット 4 シークレット

5 デメリット

問五 1 つかま 2 ぎらわ 3 すぼら

4 たいた 5 つかわ 6 なばな

問六 1 かまけ 2 ふれ 3 めんじ

4 あかし 5 もっ

二 1 イ 2 ウ 3 オ

三 1 因 2 己 3 医

4 誕 5 卵 6 級

四 1 拝見し 2 うかがい(まいり)

3 ○ 4 ください

5 いただき 6 ○

五 1 カ 2 オ 3 ア 4 エ 5 ウ 6 ク

六 A 何 B 顔 C 火 D 立 E 水 F 流

七 A 1 無 A 2 B 階 2 段

B 1 失 A 念 B 仏 2 具(身・心)

C 1 善 A 良 B 薬 2 品

【問題解説】

問一

三か所の A に入れるのに適当な漢字二字の言葉を、自分で考えて答えなさい。

【傍線部・空欄は一文に拡大する】

傍線部や空欄補充の問題では、それらをふくむ一文全体をとらえることが解答のスタートです。

A は本文中に三か所ありますから、それぞれ一文全体に拡大しておきましょう。

すなわち「唯一」あるいは「A」という意味の「ただ」。

「いっぽう」A という意味にもなった理由については、店員と客のこんなやりとりを想像してください。

「そんな「ただ」の使い方から、A」という意味の名詞「ただ」が生まれました。

一文に拡大できたら、「指示語」「接続語」と、空欄に直接つながっている語句をチェックします。それらの情報を

40分/80点

もとにすると、次のような情報が得られます。

① A に入る語は、「ただ」という言葉の意味の一つである。

② 「ただ」という言葉の一つ目の意味は「唯一」であり、A に入る語はそれとは異なる意味である。

③ A の意味を確定するにあたって、「そんな「ただ」の使い方」が指す部分が重要になる。

③の条件をもとに、「そんな「ただ」の使い方」をくわしく見ていきます。直前部分を含めて読むと、

店員が「この品をどうぞ」と差し出し、客は「おいくら?」すると店員は「これをお渡しすることにお金という要素は入り込みません」という思いを表すために言うのです。「ただ受け取ってください」。そんな「ただ」の使い方から、A」という意味の名詞「ただ」が生まれました。

となつていきます。というわけで、A に入る語は、品物を渡すことにお金という要素が入り込まないこと、つまりお金を払わずに受け取る、ということを表しているのと分かります。これを「漢字二字」「自分で考えて」という条件に合わせて考えると、「無料」あるいは「無償」ということになるでしょう。

実際はもっとあっさり答えが出るかもしれませんが、設問や空欄前後の内容をしっかり活用して答えにたどりつくことを意識しておくといよいでしょう。

問二

線部「近代以前の発想」とはどのような発想ですか。二十字以内で答えなさい。

【まずは一文全体に拡大】

なのに、近代以前の発想が心を支配しているのか、あるいは学校時代に一つの正解を持つ問題ばかりを解いてきたせいか、「よく考えれば正しい答えが見つかるはず」と思ってしまいがちです。

「なのに」という逆接の形をたどって直前の文を確認すると、

しかし、現代の日本は状況が異なります。

が見つかります。ここにも逆接の「しかし」があります。この直前に「現代の日本」と対比される状況、すなわち「近代以前の日本」について書かれているのではないか、という想像ができるでしょう。さらにさかのぼります。

一つ前の段落の最後の文

だから本当は「規範である〇〇に照らして正しい」と言うべきなのですが、近代以前の日本は、住人のほぼすべてが同じ規範に従う、いわゆる「村社会」が多数を占めていたので、この部分を省略しても問題がなかったのでしょう。

「近代以前の日本は、く占めていた」が、求めている形と一致しています。

この内容を使って解答を作っていくみましょう。

☆記述メモ

【文末】発想。

【文末に直結する内容】同じ規範に従う

ただし、このままでは少し字数が足りません。同じ規範に従う集団が多数を占めていた、という内容から、そのような行動を取ることが「当然正しいこととして受け入れられていた」という内容をつけ加えておくといいでしよう。

問三

——線部2「迷ったときにまずくということですが」とありますが、それはなぜですか。理由を答えなさい。

問二の解答欄と比較すると、三十字程度が入る想定解答欄であると考えられます。設問では字数自体が指定されていませんが、ここから大きくは外さないように解答をまとめる必要があるでしょう。

——線部2を含む一段落を確認すると、

それはゴールを決めずにゴールに向かって走るようなもの。迷ったときにまず考えるべきは、自分は何を規範とするか、ということ。そのうえで、その規範に照らして何が「正しい」かを思案する。それが、「正しい」の語源が授けてくれる思考法の王道です。となっています。

「自分が何を規範とするのかを考える」理由としては、次の二つの場合が考えられます。

- ① 「何を規範とするのかを考える」ことで、自分にとってプラスの状況が生まれる。
- ② 「何を規範とするのか考え」ないと、自分にとってマイナスの状況が生まれる。

問二で見たように、——線部2の一つ前の文「それ」が指しているのは「よく考えれば正しい答えが見つかるはず」と思いがちである、ということ。筆者はこれをマイナスにとらえています。これに対して現代の日本では、多様な価値観が存在するため絶対的な規範がありません。この状況で「どこかに正しい答えが存在しているはず」と考えてつき進むことを筆者は懸念しているわけです。そこで自分が目指すべき「ゴール」、すなわち「正しさ」を自分なりにつかむために、「自分のよるべき規範」を決めよう、というのが筆者の主張だと考えられます。

☆記述メモ

【文末】から。

【文末に直結する内容】規範によって正しさが変わる  
現代 多様な価値観

問四

……線部X「ダイエット」のように「くット」という形で終わる外来語で、次の1〜5の意味になるものを、解答らんに合わせてそれぞれ答えなさい。

- 1 市場      2 影絵      3 作法
- 4 秘密      5 不利な点

外来語の問題です。今回は、「ット」で終わるシリーズです。特定の形で始まったり終わったりする外来語は、将来みなさんが外国語を学習する際に「接頭辞」「接尾辞」などの意識を持つことにつながる場合があります。語句の学習はどうしても膨大な量のをひたすら頭に詰め込むという形になりがちなので、「意味の似ているグループ」「形の似ているグループ」などでまとめて覚えておくことを意識しておきましょう。

問五

……線部Y「正しい」のような、「くしい」という形の言葉はたくさんあります。次の1〜6の各文の——線部は、いずれもそのような言葉です。○○○にそれぞれひらがな三字を入れて、意味の通る文にしなさい。

- 1 同じ試食品を五つも食べるとは何とあ○○○しい。
- 2 彼の書くカタカナの「ソ」と「ン」はま○○○しい。
- 3 彼は落ちぶれてみ○○○しい格好をしていた。
- 4 骨折した彼が歩いている姿はい○○○しかった。
- 5 この建築のデザインは古都には○○○しくなかった。
- 6 東京オリンピックが○○○しく開幕した。

「くしい」という形で終わる言葉を答える問題です。答えの言葉の辞書的な意味をおさえておきましょう。

- 1 あつかましい
- 漢字で書くと「厚かましい」になり、ずうずうしくて遠慮のない様子を表します。この字を用いて「厚顔無恥(こうがんむち)」という四字熟語ができます。もちろん、「ずうずうしい」が類義語です。
- 2 まぎらわしい
- 漢字で書くと「紛らわしい」となり、「紛れる」(まじって分からなくなる)と関連の深い言葉です。同じア段の音であることから「まぎわらしい」とする間違いに注意しておきましょう。
- 3 みすばらしい
- 漢字で書くと「見窄らしい」となり、見た目が悪い、の意です。
- 4 いたいたしい
- 漢字で書くと「痛々しい」となり、見ていられないほどかわいそうだ、という意です。

5 につかわしい  
漢字で書くと「似つかわしい」となり、いかにもふさわしい、似合っている、の意です。枕草子の第一段に出てくる「つきづきし」という古語の訳に当たる言葉です。

6 はなばなし  
漢字で書くと「華々しい」となり、人の目を引くような様子を表します。「華やか」などから連想できるとでしょう。

問六

線部Z「〇〇に照らして」のような、「〃に：て」という形の言葉はたくさんあります。次の1〜5の各文の適当な言葉をそれぞれひらがな三字以内で入れ、意味の通る文にしなさい。

わざわざ傍点がふってあることだし、「三字以内」という条件を忘れないようにしておきましょう。

- 1 遊ぶことに [ ] て、約束を忘れてしまった。
- 2 折に [ ] てアドバイスした効果が、試合で出てきた。
- 3 彼の今日の失敗は私に [ ] て許してやってほしい。
- 4 これは昔の領主が金に [ ] て造った宮殿だ。
- 5 悪口を言われたことを根に [ ] て、仕返しした。

これも、解答に使われた言葉について辞書的な意味をおさえておきます。

1 〃にかまける  
あることばかりを行って、他のことをいい加減にすること。  
例文) 仕事にかまけて家庭をおろそかにしてはいけない。

2 折にふれる  
「折」は「その時／タイミング」の意で、「折にふれて」で「機会があるたびに」という意味になります。  
例文) 折にふれて先生のことを思い出す。

3 〃にめんじて  
「めんじて」は漢字で「免じて」と書き、人の顔を立てて、あるいはこれまでの功績や姿勢、事情などを考慮してという意味になります。  
例文) 素直な態度にめんじて今回は許してあげよう。

4 金にあかす  
「あかす」は漢字で「飽かす」と書き、「ふんだんに使う」という意味です。「湯水のように使う」と似たような意味の言葉です。最近では「ものを言わせる」の意で「まかせる」を使う例もあるようですが、ここでは「金にまかせて」は誤答としておきます。  
例文) 金にあかして豪華な設備を作る。

5 根にもつ  
「根にもつ(持つ)」で「いつまでも恨みに思う」という意味です。  
例文) 姉は五年も前に私が勝手にケーキを食べたことをいまだに根に持っている。

二  
次の1〜3の各組から、意味する内容が大きく異なることわざをそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

- 1  
ア 猫に小判    イ 馬子にも衣装    ウ 豚に真珠  
エ 牛に経文    オ 犬に論語

イのみ「大したことのない者でも、外見を飾ると立派に見える」という意味です。それ以外は「値打ちの分らない者に貴重なものを与えても無駄である」という意味です。ややなじみのない表現かもしれませんが、他に「鬼に祭文」などがあります。

- 2  
ア 弘法にも筆の誤り    イ 河童の川流れ  
ウ 犬の遠吠え    エ 猿も木から落ちる  
オ 麒麟のつまづき

ウのみ「自分が勝てない相手に対して、その相手に直接やり返されないようなところから陰口を言う」という意味です。それ以外は「上手な人でも失敗することがある」という意味です。「麒麟のつまづき」はなじみのない表現かもしれませんが、「つまづき」から「失敗」と同じグループの表現だととらえることは可能でしょう。他に「上手の手から水が漏る」などがあります。

- 3  
ア 釈迦に説法    イ 河童に水練  
ウ 孔子に学問    エ 猿に木登り  
オ 鬼に金棒

オのみ「強い者がさらに強くなる」という意味です。「虎に翼」などが類義語です。それ以外は「熟達した相手にその道のことを教えようとするおろかさ」を指す言葉です。ウの「孔子」の言ったことや行ったことがまとめられたのが、1のオに出てくる「論語」という書物です。必要のないことをする、という意味で「極楽の入り口で念仏を売る」なども類語といえるでしょう。



三  
次の1〜6の漢字について、( ) 内に示された画を黒くぬりつぶしなさい。

漢字の筆順を答える問題です。似たような形でも画数が異なることがあります。新出漢字を覚える時には、書き順も合わせて覚えるようにしておきましょう。

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1 因(四画目) | 2 己(二画目)  |
| 3 医(二画目) | 4 誕(十四画目) |
| 5 卵(三画目) | 6 級(八画目)  |

2の二画目はかくしがまえを完成させたくなってしまうところですが、一画目の横棒のあとには先に「矢」を書きまします。また、4の十四画目と6の八画目は、形が似ているのですが、切れる場所がちがうので要注意です。

四  
次の1〜6の各文について、――線部の敬語の使い方が正しいければ解答らんに○を記入し、まちがっていれば正しい表現を答えなさい。

敬語の問題です。「どんな動作を」「だれが」しているか、に注目します。自分、もしくは自分側(家族、会社内など)いわゆる「身内」の動作には謙譲語、相手側の動作には尊敬語を使います。

☆尊敬語・謙譲語の作り方

【尊敬語】

- ①お(ご)々(に)なる(お帰りになる、ご覧になるなど)
  - ②ふつうの表現+れる・られる(話されるなど)
  - ③特別表現(お休みになる、なさるなど)
- 【謙譲語】
- ①お(ご)々する(お聞きする、ご案内するなど)
  - ②特別表現(いたす、申すなど)

1 私は先生の姿を初めてご覧になりました。  
「ご覧になる」のもとの形(敬語ではないふつうの表現)は「見る」です。この場合は「私」が見ているので、謙譲語の「拝見する」に直します。

2 私は先生の家に行きました。  
「いらっしゃる」のもとの形は「行く」です。この場合は「私」が行っているので、謙譲語の「うかがう(まいる)」に直します。

3 先生は「こんにちは」とおっしゃいました。  
「おっしゃる」のもとの形は「言う」です。この場合は先生が言っているので、尊敬語の「おっしゃる」で合っています。

4 先生は私に本をさしあげました。  
「さしあげる」のもとの形は「与える、やる」です。この場合、せんせいが私に対して本を与えているので尊敬語の「くださる」に直します。

5 私は先生の家で夕食をめしあげました。  
「めしあげる」のもとの形は「食べる」です。この場合、私が食べているので謙譲語の「いただく」に直します。

6 先生が教室においでになりました。  
「おいでになる」のもとの形は「来る」です。この場合、先生が教室に来ているので尊敬語の「おいでになる」で合っています。

五  
次の1〜6の俳句の( ) に入る言葉として、最も適当なものをそれぞれ後のア〜クから選び、記号で答えなさい。ただし、同じものを二度使ってはいけません。

俳句の問題です。少ない言葉数という制約の中で、読者の想像をうながすような仕掛けがいろいろ施されています。字余り・字足らずに注意しつつ、「音数(文字数)」と「ストリー」をたよりに答えを確定させましょう。

俳句に関しては著作権の関係上全文を載せることはできません。どのようにして答えを導くか、という順序のみを掲載します。

1 「落ちし十三字」

落ちることに特徴のある花で、三字のものを探します。椿は花がそのままぼとりと落ちます。これを指して「武士が椿をきらった」という俗説もありますが、真偽はあやしいようです。

2 「踏まれながら十四字」

踏まれる、ということは地面に咲いている花だと考えられます。これと四字という条件から蒲公英が当てはまるでしょう。

3 「子の早起きは二日ほど・四字」

子が早起きするのは、夏休みの宿題で「観察日記」が出ているからでしょう。四字という条件と合わせて朝顔が当てはまるでしょう。ちなみに、朝顔は「秋」の季語なので間違えないようにしましょう。

4 「あらがわず・風・穂十三字」

「穂」と、三字という条件から薄が導けるでしょう。強い風(台風など)に吹かれてもうまく受け流す様子も薄と合っています。

5 「凍てて散りたる十四字」

「凍てて」から冬の句であることが分かります。語群の中から冬の季語を探すと、山茶花が当てはまります。ちなみに「さざんか」という読みは、もともと字に合わせて読めば「さんざか」であるところ、音の並び順が変化して定着してしまったものと言われています。



6 「渦」四字

葉ぼたんも冬の季語です。同じ四字ですが、葉ぼたんは山茶花と違って散ることがありません。山茶花の花も見ようによっては渦のようには見えませんが、「散る」との相性を考えてこちらに葉ぼたんが当てはまるでしょう。

六

慣用句の中には、共通する漢字を持つものがあります。それを使って(例)のように慣用句を並べた文章を作り、ひらがなの部分は「○」に置きかえました。同様に作った文章のA～Fに入る漢字を答えなさい。ただし、漢字の読みは一回目と二回目で同じとします。

(例) ここから試合会場は「A○B○先」だ。今日こそはライバルの「B○C○」をやりたい。彼の実力は「C○D○」だが、ぼくだって負けてはいない。

【答え】A 目 B 鼻 C 折 D 紙

(慣用句は「目と鼻の先」「鼻を折る」「折り紙つき」)

とっさに「A食○B」でやりすごしたが、本当は「B○C○出○」思っていた。友だちが「C○D○」と追及してくるのをかわすために、「D○板○E」ででたらめをまくしたてたけれど、うそつきだと思われるいな。今日のことは「E○F○」でくれるといいんだけど。

見た瞬間に答えが思いつくものと、そうでないものに分かれるでしょう。また、意味だけで攻めた時に複数の慣用句が思いつく場合もあると思います。別の慣用句と共通している漢字がある、という条件を忘れずに、落ち着いて一つ一つ埋めていきましょう。

・何食わぬ顔

|| 平然をよそおうこと。

・顔から火の出る(思い)

|| 非常に恥ずかしいこと。

・火のないところに煙は立たぬ

|| うわさが立つからには根拠があるはずだということ。

・立て板に水

|| よどみなく、すらすらとしゃべること。

水に流し(て)

|| お互い過去にあったことや気まずさをなかつたことにする、ということ。

七

次の(1)～(3)の漢字しりとりを、「条件」に合わせて完成させなさい。

【条件1】漢字の読みはすべて音読みで、一回目・二回目とも読み方はまったく同じです。

【条件2】ABは、☆で意味を説明したことわざに使われる熟語です。

【条件3】Aの読み方は、「カ・ニ・ネン・ハイ・リョウ」から選びなさい。

(例) ☆ 幸運は人の力ではどうにもならないから、あせらずに時機を待たしなさい。

晩 1 | 1 | A | A | B | B | 2 | 2 | 知

【答え】1 成 2 果 3 報 4 告

(ことわざは「果報は寝て待て」。条件に合う熟語は「果報」)

(1) ☆ 効果がなく、じれったいこと。

絶 1 | 1 | A | A | B | B | 2 | 2 | 差

(2) ☆ いくら意見を言っても聞き入れず、ききめがないこと。

過 1 | 1 | A | A | B | B | 2 | 2 | 体

(3) ☆ 身のためになる忠告は聞きづらいものである。

改 1 | 1 | A | A | B | B | 2 | 2 | 位

今回の問題では、「条件2」「条件3」からABを確定させ、そこから一つずつ攻めていくのが良いでしょう。最後に「条件1」も確認できればなお良しです。

(1)の「絶無」は少し出てきにくい語かもしれませんが。

また、(2)の2で「心」「身」という解答が別解として認められるかもしれません。

【参考資料】

音読みになりやすい読みの特徴をいくつか挙げておきます。

・小さい「ヤユヨ」が入る読み

例) 町(チヨウ)、京(キョウ)、主(シュ)

・「ン」で終わる二字の読み(例外あり)

例) 巻(カン)、金(キン)、訓(クン)

【例外】神(かん)、問(とん)、何(なん)、四(よん)

・発音すると「一音の長音」になる読み(例外あり)

例) 高(こう↓コー)、軽(けい↓ケー)、通(つう↓ツ)

【例外】タ(ゆう)、十(とお)

